

喜びも哀しみもこの地に

ハリパン25周年記念公演
韓国伝統音楽・舞踊とともに



金雲泰:チェサン小鼓舞

金株弘とノルムマチ:ピナリ・打楽

백년악곡

百年の祝祭

朴環琅:教坊舞

出演/
金株弘とノルムマチ
金雲泰(キム・ウンテ)
朴環琅(パク・キョンラン)
徐明熙(ソ・ミンヒ)
舞姫(ムフィ)
ハリパン



徐明熙:パンソリ・南道民謡



構成・演出/陳玉燮、金株弘

主催/ハリパン

お問い合わせ/蔡孝(チ・ヒョ)090・3956・4227

2011年1月8日(土)
18:00開場 18:30開演
名古屋市芸術創造センター
■地下鉄東山線「新栄町」下車1番出口を北へ徒歩3分■
全指定席 ¥4,500
小中高生・70歳以上 ¥3,000

題字/張思翼

ノリパン25周年記念公演

백년의 약속 百年の祝祭

最高の出会いを

1910年の韓国併合からちょうど100年。日本の植民地からの解放からも65年。同族が殺しあう戦争で半島を断ち切れ、日本人のみならず、在日する朝鮮人にも真に安寧な日々は未だ訪れてはいません。100年の間にどれだけの人が玄海灘を行き来したことでしょう。その一人ひとりに喜びや哀しみの交錯した人間としての生があり、その年月の中に刻まれています。

ノリパンは1985年、在日二世の家族が集まり子どもたちに民族的なものに触れる場をと始めました。以来日本人も加わりさまざまな出会いを重ね、同時にほぼ同じ数の別れを経て来ました。振り返れば、ただただ私たちが打ち出す心もとなない朝鮮半島のリズムに自らを鼓舞し、それが辛うじて人の心に留まり、かほそい人とのつながりを支えてきたことを思うとき、あらためて「文化」なるものに励まされつつその限界についても考え込まざるを得ません。

25年、人も変わり、ずいぶん街も変わりました。大切なかけがいのない人を失いました。それでもなお人と人が繋がろうとする意思があればまたそこに新しい希望が生まれるはずと信じています。

今ここで静かに過ぎる100年を思い起こしながら、「100年の約束・100年の祝祭」の公演の瞬間を多くの人と共有できればまた新しい一歩を踏み出すとができるかも知れないと、つい頬を緩め胸を弾ませ期待してしまうのです。

出演者プロフィールと演目紹介



金株弘とノルムマチ ■ ピナリ・打楽

1993年ノルムマチ創団時、金株弘が参加。以後金株弘を中心に彼の音楽世界を色濃く反映した芸術世界を追及する。近年その活動領域が韓国国内にとどまることなく欧米アフリカなど全世界に広がり、公演、ワークショップなどを精力的にこなすなど評価もともに高まっている。95年よりノリパンワークショップ講師。97年「オグイセナムク」、03年「祝祭の大地」、06年「韓の音・人・風の舞」などで名古屋公演多数。

「ノルムマチの公演は、韓国舞踊、大衆歌手、フラメンコ、ジャズなど多様なジャンルとのコラボレーションを通じて打楽の新しい発展を模索している。単に韓国的な要素にとどまることなくあらゆる文化、芸術とも融和しながら同時に彼らだけの独特な特色を噴出させる魅力的な演奏をする」

ラジャー・オッパーマン(ワールドミュージックフェスティバル・エグゼクティブ・ディレクター/ドイツ)



金雲泰 ■ チェサン小鼓舞

7歳の頃から父が率いる「湖南女性農楽団」のメンバーとして韓国全土を回る。1989年には金徳洙サムルノリメンバーとして世界を駆け巡った。現在、済州島で女性農楽団の再興を目指す「ノリアン」を率いる。彼の「チェサン小鼓舞」は動と静が絶妙に織りなす。その圧倒的な空間は他の追随を許さない当代の逸品。97年「オグイセナムク」、03年「祝祭の大地」名古屋公演に出演



朴璟琅 ■ 教坊舞

韓国の伝統舞踊界でも今やその実力は抜きん出たものとの評価が高い。出身の慶尚道の舞いにこだわりその探求と表現に力を注いでいる。92年から各種コンテストで賞を総なめにし、97年、「ソウル伝統公演競演大会」で大統領賞を獲得した。2000年より3年間ノリパンワークショップ講師。03年「祝祭の大地」名古屋公演に出演



徐明熙 ■ パンソリ・南道民謡

パンソリをキム・フナム、シン・ヨンヒ先生に師事。2000年代に入り活発な公演活動を続けている。パンソリは韓国の代表的な唱芸であり、全羅道地方が本拠とされている。代表的な演目に「春香伝」などがある。また唱い手に合わせてさまざまな長短(リズム)をとるプク(太鼓)の役割も大きく、一鼓手二名唱といわれる所以である。01年、71回全国南原春香祭パンソリ名唱大会文化部長賞



舞姫 ■ 剣舞

朝鮮舞踊教室(舞姫)(ムフィ)は5歳から18歳までの在日コリアン4世の少女たちが所属する団体。主に名古屋を活動拠点に、朝鮮舞踊を通じ、日本のみなさまとの交流、また2つに分断された北と南の祖国と在日を結ぶ架け橋となるべく公演活動を繰り返している。01年1月設立。10周年記念公演を去る9月1日、栄アートピアホールにて開催し、大成功を収める



ノリパン ■ パンクッ・鶴舞・珍道プク舞

1985年在日朝鮮韓国人二世の家族が集まり子供たちに民族的なものに触れる場をと発足。その後日本人も参加しサムルノリや農楽を学びながら朝鮮半島の楽器や伝統のリズムに親しむ。現在メンバーは25人。朝鮮韓国人、日本人、ダブル、幼児から還暦を越える幅広い年齢層の集まりである。04年、05年に続き韓国併合100年の10年夏、ソウルの街頭と劇場でパフォーマンスを行った



陳玉燮 ■ 構成・演出

舞踊評論家、プロデューサー。07年歴史の裏面にひそむ伝統芸能の脈を掘り起こした著書「ノルムマチ」は芸能史の枠を超えて広範な反響を呼び起こす社会現象となった。96年よりノリパンワークショップの民族舞踊講師。大田万博国楽マダン総監督、ソウルノリマダン芸術監督、トゥレ劇場長、KBSプロデューサーを経て現在KOUS国楽劇場監督。「男舞」、「女舞」、「八舞伝」、「八侑シリーズ」を手がけいづれも高い評価を受けている

チケットのお求めは

- WEB申し込み <http://www.ne.jp/asahi/noripan/net/>
- 電話申し込み 090-3956-4227 ノリパン・蔡(チェ)
- FAX申し込み 052-778-5384 ノリパン・酒向(サコウ)

お振込先

①郵便局から 郵便振込口座 00830-4-68892 ノリパン

②金融機関から ゆうちょ銀行 店番:089 店名:ゼロハチキウ店 口座 0068892 ノリパン

※ご予約から一週間以内にお振込みください。ご入金確認後チケットを発送いたします

※振込手数料はお客様のご負担でお願いします

●FAXでお申し込みの方はこの用紙をご利用ください

FAX 052-778-5384

一般()枚 小中高生()枚 70歳以上()枚

お名前 電話番号 FAX番号

ご住所(〒)